

あいさつを交わして
つくる まちづくり



あいさつ便り

2025年3月1日発行

発行元：チームあいさつ運動すすめ隊

チームあいさつ運動すすめ隊は市ヶ尾・荏田西地域の子供たちが笑顔であいさつを交わり、街の中を行き交う大人たちも自然と会釈する姿を目指しあいさつ啓発に向けた施策を講じる自治会・学校・PTAの有志団体です。

あいさつ運動初年度を振り返って

昨年1月あいさつに関し約2600名の児童・生徒、保護者及び町内会の方々へのアンケート調査結果、実に70%以上の方があいさつすることに好意的な意見でした。回答コメントの中で「あいさつはお互いが心を開いて近づき人間関係を築いていく第一歩です。言う人も言われた人もおたがいの心が優しくなり、あいさつによってここがもっと住みやすい地域になれば良いですね。」という意見が心に響きました。あいさつ運動の実施にあたり、学校関係者、PTA、町内会の方々が一一致協力して活動推進してきていることは素晴らしいです。徐々に結果が出てきているともお聞きし、この活動がさざ波となり他地域へも波及していくことを期待しています。

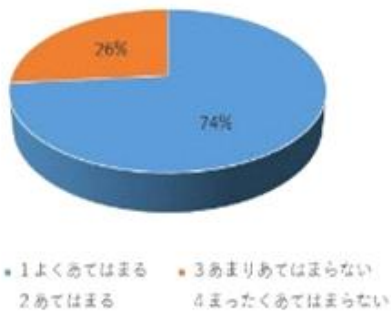


チームあいさつ運動すすめ隊
アドバイザー 関根秀昭

市ヶ尾中学校ブロックで行われた「あいさつ運動の取り組み紹介、第二弾！！」

<荏田西小学校>

Q5.お爺さんは、家族や先生、地域の人たちに、自分から選んであいさつをすることができている。



令和6年度学校評価アンケートで保護者の方から、次のようなご意見をいただきました。

『地域であいさつ運動を行っていることは、とても良い取組だと思います。地域の年配の方から子どものみならず親世代の私たちが出勤する際も挨拶をしてください。それを見た子どもたちにも良い影響があるのではと思います。何よりも挨拶した私たちも気持ちの良いものです。』

本校でもあいさつに関する取組を継続しています。子どもたちは地域の人とあいさつをして、「笑顔であいさつを返してくれたから、うれしかった。」や、「『今日も一日が始まるぞお〜。』という気持ちになる。」といった言葉が聞こえてきています。

<東市ヶ尾小学校>

本校では、先日行われた「市ヶ尾中学校ブロックのあいさつ運動」を受けて、自分たちでヒガイチのみんながもっと笑顔であいさついっぱいになれるようにと、計画委員の児童が声をあげ、校内でその運動が行われました。本校の計画委員会の児童が中心となって、朝、児童が登校する際に南門と北門に分かれて、大きな声で「おはようございます！」と呼びかけました。

「あいさつを返してもらえると気持ちがいいから、今度からは自分も進んであいさつしよう」

『『おはよう』を返してくれないと、自分も元気がなくなるし、何か嫌なことがあったのかと心配になる』

「南門より北門から来る人たちの方があいさつをしてくれる人が多い」

等、様々な感想をもち、あいさつの大切さを改めて感じたようでした。

PTA会長の根本さんからは、「PTA活動で学校に来る機会が多いですが、以前より自分から進んであいさつをしてくれる子が増えてうれしいです。」

という感想をいただきました。



<市ヶ尾中学校>

令和6年度に実施された「あいさつ運動」についてPTAの方々から、次のようなご意見をいただきました。

「地域全体で取り組むということは本当に素晴らしく、日々感謝しております。昔のようにご近所さんの顔が見える地域になると、子育てをする上でも高齢になってからも安心して暮らせる町になることでしょうか。とはいえ昨今様々な危険が潜んでいるのも現状です。『知らない人とは話さない』と教えている親も多いでしょう。より安全な地域を目指すため、大人の私達が率先してあいさつ運動に加わり、地域全体で変わっていく必要があるのかもしれない。今後もこのような取組が地域全体に普及し、たくさんの大人の目で子ども達を守っていける地域になるよう心から願っております。いつもありがとうございます。」

この活動を長く継続することが大切だと改めて感じました。これからもよろしく願いいたします。



市ヶ尾中学校「あいさつ運動すすめ隊 チラシ第二弾！！」

つきたい「おはよう」から始まる 地域の輪



※「市太（イチタ）」と「たぬぴぴ先輩」は市ヶ尾中学校のキャラクターです。

市ヶ尾・荏田西地域あいさつ推進運動実施中

作：市ヶ尾中学校/福祉委員会及び美術部

発信元：チームあいさつ運動すすめ隊